

## 松本秀峰 数学甲子園本選へ 3人チーム 上位目指す

松本市の松本秀峰中等教育学校6年生（高校3年相当）3人が、16日に都内で開かれる「数学甲子園」（日本数学検定協会主催）に出場する。中学、高校、高専の生徒3～5人のチームで英文を交えた問題を解いたり、課題に沿った数学の問題を作ったりする。同校によると、本選出場は県内初。3人はチームワークで上位入賞を目指す。

3人は古屋大紀さん(17)＝安曇野市、郷原一生さん(17)＝松本市、杉田南美さん(17)



数学の本を開く（左から）杉田さん、古屋さん、郷原さん

＝諏訪市。古屋さんと郷原さんを通過できず「上の世界があると感じた」。理系で数学が

好きな2人に、文系で英語が得意な杉田さんが加わり新たにチームを組んだ。

7～8月の予選は同校など県内4校を含む278校の610チームが出場。上位36チームが出場する本選では、テーマに沿って問題を作る事前競技と、本選当日にチームで問題を解く競技が行われる。

2競技の合計点の上位6チームが事前競技で作った問題を発表し、鋭い質問をした1チームが敗者復活できる仕組みもある。3人は「学んだ蓄積を応用できる楽しい競技。高いところを目指す」と意気込んでいる。